



気になる測定結果

【東京都霞ヶ関の落葉】

測定日2016年11月12日 重量225g 測定時間63,000秒

判定	核種	放射能濃度	絶対誤差	統計誤差	検出下限値	ピーク検出
検出	Cs137	19.1Bq/kg	±4.5Bq/kg	11.9%	3.51Bq/kg	あり
検出	Cs134	5.03Bq/kg	±2.27Bq/kg	40.7%	3.26Bq/kg	あり
検出	K40	242Bq/kg	±56Bq/kg	10.9%	41.6Bq/kg	あり

東京都内（霞ヶ関 国会議事堂近く）の落葉です。

土も多少付いている影響からセシウム134が高めに計算されているようですがスペクトルグラフでは明瞭にピークが確認できます。

福島第一原発事故による影響での放射性セシウムの検出と考えられます。

東京も汚染地帯であることを再認識した結果となりました。（佐藤）

【千葉県産玄米】

測定日2016年10月4日 重量934g 測定時間50,000秒

判定	核種	放射能濃度	絶対誤差	統計誤差	検出下限値	ピーク検出
下限以下	Cs137	検出せず			0.83Bq/kg	なし
下限以下	Cs134	0.63Bq/kg	±0.55Bq/kg	88.2%	0.88Bq/kg	なし
検出	K40	60.3Bq/kg	±13.9Bq/kg	10.5%	9.89Bq/kg	あり

この玄米は、2013年に放射性セシウムが検出された玄米と同じ所で2016年に収穫されたものです。スペクトルグラフにγ線ピークが見られたので、ゲルマニウム半導体検出器による精密測定を南福崎測定室に依頼しました。

測定日2016年10月20日 重量933g 測定時間24時間

核種名		放射能±誤差 (Bq/kg)	検出下限値 (Bq/kg)	エネルギー (kev)
セシウム合算	Cs134+Cs137	1.7±0.1	<0.3	
セシウム137	Cs137	1.5±0.1	<0.3	662
セシウム134	Cs134	0.2±0.1	<0.3	605
ヨウ素131	I-131	不検出	<0.2	385
カリウム40	K-40	72.3±2.6	<7.8	1610

実は2013年産の玄米では セシウム137は0.9±0.1Bq/kg 検出下限値0.3Bq/kg セシウム134が0.5±0.1Bq/kg 検出下限値0.3Bq/kg でした。なので、3年前より今年の玄米の方が数値が高い結果になりました。

今年は汚染されているかもしれないが微量で検出されないのではと予想していましたが、予想外でした。同じ田んぼでも収穫する場所によって汚染度が違うのかもしれませんが、3年経って数値が増えているのは使用している肥料が影響している可能性も考えられます。（くっすん）